おしえて だいよん！

担当エリアは？

東南アジア、インド、中東、オセアニア諸国の**45ヶ国**に及びます。
これまでに**12カ国へ調査団派遣**しています！

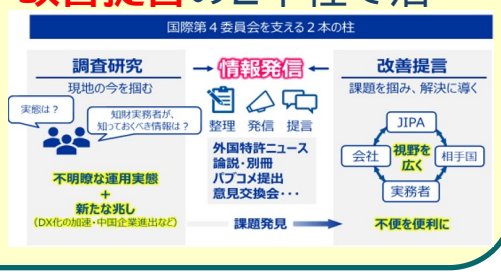
首藤委員長

注目してもらいたい成果は？

JIPAネットワークを活かした**インド実務の実態把握に向けた活動**は印象的でした！
ぜひ、JIPA 新Form27 で検索してみてください！

どんな活動を？

特許を軸に、権利化/権利活用に関する調査研究、対外発信・改善提言の2本柱で活動しています。



多種多様にも関わらず実態不明瞭なエリアを担当するのは私たちの魅力の一つ！
また、当委員会オリジナルの**『学びの時間』**を通じた知の共有など、私たちならではの仕掛けも盛りだくさん♪

ぜひ、説明員にお声がけください！

MISSION

情報発信と課題提言で、JIPA会員企業の皆様のみならず、
広く現地で活動する日本ユーザーの皆様のよりよい知財活動に貢献する。

VISION

最新の運用実態に基づく鮮度の高い情報を、旬のうちに、発信する。

各国機関と意見交換・提言

with タイ知財局　2022 Nov 1

with インド法律事務所　2022 Nov 11

with JETRO 5極　2022 Dec 2

日本企業への発信

アウトプット※2021年度活動

対外会合など	外国特許ニュース	論説発行
9 件	12 件	2 件
パブコメ提出	**別冊発行**	**JETROコラボ報告書**
2 件	1 件	2 件

■US Special 301条監視国の状況

■WIPO指標

インドネシア
2020年 特許出願件数は8,160件であり，**COVID-19の影響か前年比で－28.9%と減少しています。**
また，外国からは，**日本からの出願件数が最も多い**結果でした。
特許審査において，審査請求から査定が出るまでの**期間が平均45.0月**でした。

シンガポール
2020年 特許出願件数は，13,265件であり，**前年比で－6.2%と減少**しています。
外国からは，米国からの出願件数が最も多い結果でした。
また，現地特許庁へのPCT出願件数が，インドネシアでは16件であるのに対して，シンガポールでは，1,278件と，非常に多いという特徴が確認されました。この現地特許庁へのPCT出願において，最も多く出願しているのはシンガポール科学技術研究庁でした。

オーストラリア
2020年の特許出願件数は29,294件であり，前年比で－1.6%と減少しています。特徴として，オーストラリアでは，居住者による特許出願件数が非常に少なく，2020年の特許出願件数全体に占める居住者の割合は，8.1%でした。2011年の当該割合も9.3%と低く，直近10年の間，ほぼ変わりません。また，現地特許庁へのPCT出願における出願人上位は医療機器メーカーでした。
特許審査において，審査請求から1st OAまでの期間が平均7.6月，査定が出るまでの期間が平均22.8月でした。

インド
2020年の特許出願件数は56,771件であり，前年比で＋5.9%と増加しています。特徴として，インドでは，居住者による特許出願件数が増加しています。2011年の特許出願件数全体に占める居住者の割合は，20.9%でしたが，2020年では，40.8%であり，直近10年で約2倍に増えています。また，現地特許庁へのPCT出願における出願人上位は大学，国立研究機関，二輪自動車メーカー，自動車メーカーでした。特許審査において，審査請求から1st OAまでの期間が平均18月，査定が出るまでの期間が平均42月でした。

■研究テーマ/成果物からみた、これまでの歩み

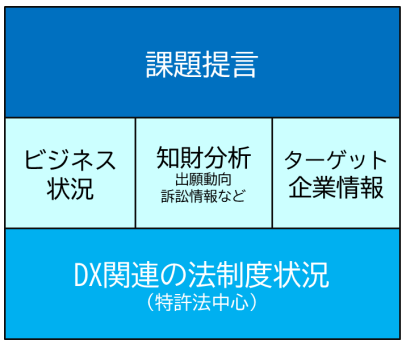
年度	研究テーマ/成果物	年度	研究テーマ/成果物
2013年★	資料第429号「ベトナム調査団報告書」	2017年	論説「インドにおける特許審査機関に関する調査研究」
	資料第434号「マレーシア調査団報告書」		論説「インドにおける対応外国出願情報提出義務（８条）に関する調査研究」
	資料第431号「オーストラリア調査団報告書」		論説「インド、ASEAN諸国における特許権行使の実態に関する調査研究」
2014年★	資料第446号「フィリピン調査団報告書」	2018年	論説「特許権にかかるASEAN-5知的財産当局施策に関する調査研究」
	資料第454号「フィリピンにおける特許権取得・行使上の留意点」		研究「インド出願における拒絶理由の分析とその対応方法」
	資料第448号「シンガポール調査団報告書」	2019年★	電子「トルコ調査団報告書」
	資料第456号「シンガポールにおける特許権取得・行使上の留意点」		資料第499号「トルコにおける特許権取得・行使上の留意点（第２版）」
	資料第449号「UAE・サウジアラビア調査団報告書」		論説「ASEAN-6の特許制度における権利化阻止対抗手段に関する調査研究」
	資料第451号「UAE・サウジアラビアにおける特許権取得・行使上の留意点」		論説「インドにおけるヒアリングに対する留意点と対応策」
	資料第455号「トルコ調査団報告書」	2020年	論説「ASEAN-6で早く安定した権利を取得する方法」
	資料第450号「トルコにおける特許権取得・行使上の留意点」		論説「インドネシアにおける最新の特許法改正動向と、知財実務に与える影響・問題点の調査研究」
2015年★	資料第469号「ASEAN、インド、オーストラリア、ニュージーランドにおける特許制度対比表」		研究「インド特許における権利行使及び出願権利化に役立つ判決・審決事例」
	資料第458号「インドネシア・カンボジア調査団報告書」		研究「IPランドスケープを通じたASEAN×EC分野での中国企業の出願戦略分析」
	資料第462号「インドネシアにおける特許権取得・行使上の留意点」	2021年	論説「IPランドスケープを通じた、標準必須特許を絡めた、インド×通信分野におけるグローバル企業の出願戦略分析」
	資料第464号「カンボジアにおける特許権取得・行使上の留意点」		論説「ASEANにおける、技術提供を伴う特許活用の実態と留意点（仮）」
2016年★	論説「インド・ASEAN諸国において創出される発明の取扱いとの留意点」		報告書「新インド特許実施報告書（新Form27）の運用上の留意点」
	論説「特許訴訟データから見るインド知財戦略に関する調査・研究」		報告書「新インド特許実施報告書（新Form27）の運用実態と課題認識（仮）」
	論説「インド特許の実施報告書の記載様式に関する研究」		資料「インドネシアにおける特許権取得・行使上の留意点（第２版）」
	論説「インドネシア、タイ、ベトナムの現地法律事務所の活用上の留意点」		研究「IPランドスケープを通じたイスラエルスタートアップ企業の知財分析」

外国特許ニュースのサイト

先端テーマの深堀

ASEAN-6 x DX関連特許

調査研究とIPL※1を組合せた新しい取組み！



IPLによる考察

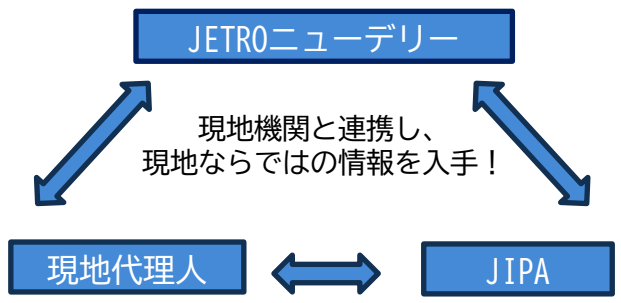
法制度調査による実態把握

検討①	検討②
出願国はどうする？	モノ特許と違いは？

※1　IPLとは、Intellectual Property Landscapeの略称

インド x ビジネスモデル特許

インドにおけるビジネスモデル関連発明の不透明な実態を解き明かす！



- インド特許法3条(k)とは？
- ビジネスモデル特許を取れる？